

『料理がたのしくなる料理』



ひとつずつの料理は簡単で、組み合わせるといろんなアレンジができるところが好きです。

こねないパンの作り方に興味を持ちました！

(読者ハガキより)

『私の家庭菓子』



写真やスタイリングもステキで参考になります。レモンサワークリームケーキ、ガトータタンなど作りたいものがいっぱい！

(読者ハガキより)

『毎日食べる。家で、ひとりで。』



料理本で感動したのは久しぶりで、何度も何度も読み返しました。献立のヒントいっぱいありがとうございます。

(読者ハガキより)

『おかずとご飯の本』



高山さんの本で、作ること、食べることが好きになりました。ビニールカバーがついているのが便利！

(読者ハガキより)

『イタリア料理の本』



「緑のサラダ」がとてもおいしくて何度も作りました。

突き詰めたシンプルレシピ、あまりの潔さに感動しました！

(読者ハガキより)

『朝食の本』



亜衣さんの本からはいつも本物の豊かさを感じることができます。最後に「トースト」があるのがニクイです。

(読者ハガキより)

『日々のお弁当図鑑』



作り方がわかりやすく簡単！家にある調味料で全てまかなえるなんて夢のよう！

読者の気持ちになって作られた本ですね！

(読者ハガキより)

『ぱらぱら きせかえ べんとう』



ありそうでなかった！リング綴じで使いやすいお弁当レシピ本。ぱらぱらめくってお好きな組合せに。第54回「造本装幀コンクール」にて会長賞受賞。

(担当編集者より)

『台所のメアリー・ポピンズ』



昔読んだ「メアリー・ポピンズ」を思い出してとてもなつかしい。おいしそうな料理を思い浮かべて、食べたいな～と思いながら読みました。

(読者ハガキより)

『SPICE CAFE のスパイス料理』



全面カレー推しではなく、スパイス料理を幅広く扱っているところがスパイス愛を感じました。どれも本格的な味で、自分で作るのが嬉しい。

(読者ハガキより)

『ハーブのサラダ』



ハーブがメイン、そしてサラダなので、手順がシンプルで嬉しい。こんなにわかりやすいハーブの本は初めてです！

(読者ハガキより)

『アメリカ南部の家庭料理』



「アメリカ南部」に焦点を当てているところが気に入りました。本の初めに南部料理の定義がしっかりと示されている。

(読者ハガキより)

『野菜たっぷり すり鉢料理』



タイトルが素敵で、写真もよく、「すり鉢」というテーマに興味をそそられました。作ってみたらとてもおいしく、ベジ料理なので気に入っています。全部作ってみます。

(読者ハガキより)

『料理発見』



気になった食材や料理は自ら試さずにいられない、好奇心と情熱にあふれた食エッセイの復刊。日常を豊かにする料理の楽しさに出会えます。

(担当編集者)

『早川ユミのちくちく服づくり』



服づくりは難しい&専門知識がたくさん必要……と思っていましたが、もっと肩の力を抜いてやってみればいいんだなと気付かされました！

(読者ハガキより)

『食べられる庭図鑑』



この本をきっかけにハーブ栽培を始めました。ベランダに緑が増えて、しかも食べられる！という一石二鳥で、体も心も癒されました。

(読者ハガキより)

『にほんのいきもの暦』



毎日の散歩、孫と一緒にすぐに調べられて楽しく持参しています。花ばかりではなく鳥や虫たちも同時に扱われていることがよかったです。

(読者ハガキより)

『ゼロ・ウェイスト・ホーム』



本の厚さにびっくりしましたが、内容がとても充実していて、読んだその日から実践できました。日本でもっとゼロウェイストが広まるとうれしいです。

(読者ハガキより)

『サステイナブルに暮らしたい』



各章にある「小さなアクション」がとてもいい。自分だったら何をしよう?と考えたり、これまでと視点が少し変わって、暮らしに風が通った感じ!

(読者ハガキより)

『暦レシピ』



重版出来!「おまけレシピ」は、高山なおみさんのふだん着のメニュー。季節と気分が満載の、頑張らずにおいしい料理をお楽しみください。

(担当編集者)

『TODAY'S MAKE-UP』



読者にすべて手取り足取り教えるのではなく、与えているものはヒント。距離感がちょうどよく、素敵!まずは口紅を3本揃えるところからはじめます。

(読者ハガキより)

『パリと生きる女たち』



現代のパリでどのような人生を生活しているのか...読むほどに惹き込まれました。旅に出られない今、この本に出会えてうれしく思います。

(読者ハガキより)

『聡明な女は料理がうまい』



自分が今する仕事にもっと愛を込めようと思いました。私の人生の支えであり、目標の本です。

(読者ハガキより)

『おいしい時間』



自分のなかに新しく、忘れていた憧れを思い出しました。みどりさんの自然体なのにすべてにおいてセンスがいいところがかっこいい!

(読者ハガキより)

『こころのヨーガ』



絵本のように気軽に読める。まるで心の処方箋のようです。ヨーガへの誘いとして決定的な出会いになりました。

(読者ハガキより)

『いのちを呼びさますもの』



久しぶりに丁寧な装丁の本に逢えて感動。文章を味わったり、自分のことを振り返ったりと、素晴らしい読書時間でした。

(読者ハガキより)

『いのちはのちのいのちへ』



「場」と「個」が共存するための考えが書かれていて、とても心に響いた。不透明な世の中で、自分なりの軸になる考え方をこの本からもらえた。

(読者ハガキより)

『完璧になれない。だからいい』



これからも、頭が固くなってきたり、他人のせいばかりの自分になりそうになったら、この本を何度も読み返そうと思います！

(読者ハガキより)

『ウェルフェア トリップ』



全国にこんなに素敵な福祉施設があることに勇気づけられました。この本を書いて下さった羽塚さんに感謝です。ありがとうございます！

(読者ハガキより)

『覚醒のネットワーク』



「人のせい」にすることが多いと気づかされ考えさせられました。これからを担う若い人に是非読んでほしいものです。

(読者ハガキより)

『この星で生きる理由』



心に響く文章、心に響く感性、何度も読みかえています。本書は私の人生の羅針盤にさせていただきます。

(読者ハガキより)

『ヒトゴトにしない社会へ』



取り組みがどれも本当に素晴らしく、温かく、心揺さぶられました。そのままの人間同士でつながり合える社会になれば、もっと優しい世界になりそう。

(読者ハガキより)

『職人の手』



続けていくことがどれほどの努力を秘めているのか、ようやくわかってきました。この本に気付かされたことがたくさんありました。この本は手放しません。

(読者ハガキより)

『江戸の暮らしと落語ことはじめ』



江戸を知ったら落語はもっとおもしろい！読んでから聴いても、聴いてから読んでも楽しめる、落語好きにも落語初心者にもおすすめの一冊です。

(担当編集者より)

『韓国 美・味 案内』



なんと美しいのだろう！なんと美味しそうなんだろう！この本を持って韓国に行きたいです。単なるガイドブックとは一線を画す、素晴らしい一冊！

(読者ハガキより)

『街と山のあいだ』



人との関わりのなかで感じたこと、笑みがこぼれてしまうエピソード、クッと気が引きしまるお話、どれも好きです。

(読者ハガキより)

『旅の断片』



コロナ禍の今、この本を手にとって本当によかった。旅の「非日常感」と毎日確実に存在している「生活感」が、いい感じに描写されていて好きです。

(読者ハガキより)

『途上の旅』



旅をしたときにうまく言葉にできなかった気持ちを、若菜さんが言葉にしてくれている気がして、読んでいて心が洗われる思いでした。

(読者ハガキより)

『みんなの地球を守るには?』



ごみを出さない暮らしの重要さに  
気づき、数年前から生活を大改革。  
この本はこどもはもちろん、大人  
にもぜひ読んでほしい!

(読者ハガキより)

『イワンの馬鹿』



トルストイの本をちゃんと読んで  
いなかったのが、新鮮な驚きを感じ  
ながら読みました。解説や訳者  
のあとがきもとても良かったです。

(読者ハガキより)

『バイバイ! むしバイキン』



「ハミガキしないとむしバイキンが  
くるよー!」と言うと、ちゃんと  
ハミガキするようになりました。  
すごい効果!! びっくりです。

(読者ハガキより)

『もしぼくが本だったら』



タイトルにひかれました。すごく  
共感できて、イラストもシンプル  
でわかりやすくおもしろかったです。  
親子での共作というのがさらに  
いい。

(読者ハガキより)

『うたをうたうとき』



まどさんのことばから生まれた  
アートが病院に在って、多くの  
人の心を動かすように、自然なこと  
のように、涙がこぼれました。

(読者ハガキより)

『オーケストラ』



店頭でひとめぼれ! おしゃれな色  
合い、1人1人の豊かな表情、旅  
気分になれる各国の楽しい様子。  
この本を見てリフレッシュ、元氣  
をもらっています。

(読者ハガキより)

『ナマケモノのいる森で』



360度広がる森の中で、発見す  
るよろこびや驚き! ナマケモノ  
がキーになる美しい森のしかけ絵  
本。SDSs テーマの絵本としても  
大人気です。

(担当編集者より)

『オセアノ号、海へ!』



ページをめくると広がる、5つの  
海とその海の中。美しいイラスト  
レーションとしかけの素晴らしさ  
で、プレゼントにオススメです!

(担当編集者より)

『ルー、山へ行く』



『ナマケモノのいる森で』『オセア  
ノ号、海へ!』の作家の待望の最  
新作。テーマは“山”で、すべて  
のページにオオカミが隠れていま  
す(難易度高めです!)。

(担当編集者より)

『ルージュベックのだいぼうけん』



赤い鳥、ルージュベックといっしょ  
にいろんな場所を旅する絵本。本に  
ついて「まほうのルーペ」での  
ぞくと、あらふしぎ! まったく別の  
世界が見えてきます。

(担当編集者より)

『はるなつあきふゆのたからさがし』



子どもと一緒に「たからさがし」  
をしながらお散歩する時間は、私  
の大切な“たからもの”です。  
拾ったものが何か一緒に探せる絵  
本はとても嬉しい。

(読者ハガキより)

『いろってなあに?』



読み聞かせをして、日本語訳の素  
晴らしさを実感。「色」を五感で体  
感できるすばらしい作品です。今  
を生きるこどもたちに手渡したい  
絵本。

(読者ハガキより)